

## 2007年度 卒業論文講評

2008年2月 小関 隆志

### 吉武 遼一 「非営利組織の広報利用」

これは、非営利組織の経営戦略のテーマに、正面から挑んだ論文です。

非営利組織にとって、資金調達や人材育成が重要な経営課題だとよく指摘されますが、広報戦略は資金調達ほど重要視されていないというのが正直なところではないでしょうか。しかし、資金調達を効率的に行い、優秀な人材を確保するためにも、いかにして多くの人々に非営利組織の活動を知ってもらうかが重要なカギを握っていることは明らかです。数年前に、NPO 向けのチラシ作成講座が流行った時期もありましたが、今ではチラシ配布そのものが減ってきていることもあって、講座は見かけなくなりました。財力のある NPO はお金をかけて立派なウェブサイトを作ったり、新聞広告やテレビコマーシャルを出したりして、まとまった額の寄付金を集められますが、財力のない NPO にとって大々的な広報活動は困難な状況ですし、ウェブサイトの制作もそう簡単ではありませんから、二極化がますます進んでいくかもしれません。

非営利組織の広報戦略については、実は先行研究が少なく、日本語文献に限ってはほとんどないと言ってもいいくらい、未知の領域（フロンティア）です。

吉武さんは、敢えてこのフロンティアの開拓に挑みました。私としては、敢えて困難な道を選択した勇気を称えたいと思います。

本論文のユニークな点は、「デザイン・アソシエーション」という NPO に着目した点です。日本では極めて珍しいことですが、NPO がテレビ番組を企画制作し、CM まで流しているという事例です。確かにこれは特殊事例であり、すぐに一般化することは難しいのですが、広報の先駆的な事例として、学べるところは大きいと思います。

また、吉武さんは NPO 事業サポートセンターという中間支援組織を訪問し、インタビューを通して、小規模 NPO の広報の実態を学ぶことができました。文献やウェブサイトなどでは得られない知識が、関係者に直接聞くことで得られることも多いのです。

欲を言えば、小規模 NPO の広報の実態について、より詳しい現状調査を行えば説得力が増すので、なお良かったかもしれません。吉武さんが今後もこの問題に関心を持ち続け、いつかまた機会があれば現状を調べてみてもらえればと思います。